

4. 家族について

(1) 親からの家事・育児に対する手助け

問42 【結婚している方に】現在、家事や育児の中で、親から手助けを受けていますか。「a) あなたの父母」と「b) 配偶者の父母」のそれぞれについて、あてはまるものをいくつでもお選びください。

【結婚していない方に】将来、結婚してからの家事や育児の中で、あなた自身の親からどのような手助けを受けられそうだと思いますか。あてはまるものをいくつでもお選びください。

図表 4-1-1

		(%)									
〈自分の父母〉		の不在か時りの子ども	話し相手の子どもの世話や	経済的支援	食事の用意	日用品や食品の買い物	掃除・洗濯	その他	特にな	い	
全体	(n=1,877)	42.8	34.9	19.0	18.0	15.1	11.8	0.9	38.6		
男性	府内在住 (n=784)	38.6	32.1	20.2	17.5	14.3	11.7	0.6	40.6		
	府外在住 (n=657)	36.8	28.5	15.4	12.3	10.2	8.2	0.9	45.7		
女性	府内在住 (n=236)	56.8	47.9	20.8	28.8	22.5	16.9	0.8	26.3		
	府外在住 (n=180)	64.4	52.8	25.6	25.0	25.6	17.8	2.2	21.1		

		(%)									
〈配偶者の父母〉		の不在か時りの子ども	話し相手の子どもの世話や	経済的支援	食事の用意	日用品や食品の買い物	掃除・洗濯	その他	特にな	い	
全体	(n=1,054)	33.6	23.7	14.2	12.0	10.4	6.4	1.2	47.9		
男性	府内在住 (n=435)	34.9	25.1	15.2	12.2	10.1	6.4	0.5	46.4		
	府外在住 (n=476)	35.3	25.4	14.9	13.2	11.8	6.9	1.5	45.4		
女性	府内在住 (n=92)	26.1	15.2	8.7	8.7	5.4	3.3	2.2	60.9		
	府外在住 (n=40)	17.5	10.0	7.5	2.5	10.0	5.0	2.5	62.5		

自分自身と配偶者の親から、現在、家事や育児の中で手助けを受けているかを聞き、親がいて、未婚者の場合は結婚の意思のある者に限って集計した（図表 4-1-1）。

自分の父母からの手助けとしては、「不在時の子どもの預かり」が 42.8%で最も多く、「子どもの世話や話し相手」が 34.9%で続いている。

自分の父母からの手助けを性・居住地別にみると（図表 4-1-1・上）、男性は、「経済的支援」（府内 20.2%、府外 15.4%）、「食事の用意」（同 17.5%、12.3%）、「日用品や食品の買い物」（同 14.3%、10.2%）などが、府外在住者よりも府内在住者にやや多くあげられている。一方、女性では、「不在時の子どもの預かり」（同 56.8%、64.4%）と「子どもの世話や話し相手」（同 47.9%、52.8%）、「経済的支援」（同 20.8%、25.6%）が、府内在住者より府外在住者に多くあげられている。

居住地の男女で比較すると、「経済的支援」以外は、いずれも男性より女性に多くあげられている。「経済的支援」は、府内在住者（男性 20.2%、女性 20.8%）では男女ともに 2 割で、差がみられない。

一方、配偶者の父母からの援助としても（図表 4-1-1・下）、「不在時の子どもの預かり」（33.6%）と「子どもの世話や話し相手」（23.7%）が上位にあげられているが、回答率はいずれも“自分の父母”より低い。

自分の父母からの手助けを性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 4-1-2）、男性では、居住地にかかわらず、子どもがいない層での婚姻状況による差が大きく、未婚者は自分の父母の手助けに対する期待が大きいのにに対して、子どもがいない既婚者で、手助けを受けている者は少ない。また、子どもがいない未婚者では、男女とも「不在時の子どもの預かり」が、府内在住者（男性 49.3%、女性 67.5%）よりも府外在住者（同 61.2%、80.0%）に多くあげられている。

子どもがいる層は、男性では、居住地による差はみられない。府内在住者を男女別にみると、「経済的支援」以外（同 19.0%、18.7%）以外は、いずれの項目も男性より女性に多くあげられている。

図表 4-1-2 自分の父母からの家事・育児に対する手助け（性・居住地・子どもの有無別）

			（%）										
			不在時の子ども	子どもの世話や話し相手	経済的支援	食事の用意	日用品や食品の買い	掃除・洗濯	その他	特にな			
全体 (n=1,877)			42.8	34.9	19.0	18.0	15.1	11.8	0.9	38.6			
男	府内在住	子どもがいない 未婚 (n=349)	49.3	45.6	22.3	22.3	19.8	19.5	0.9	28.9			
		子どもがいない 既婚 (n=87)	9.2	8.0	17.2	13.8	9.2	3.4	-	64.4			
		子どもがいる(計) (n=327)	35.2	22.9	19.0	13.8	9.5	5.2	0.3	46.8			
	府外在住	子どもがいない 未婚 (n=206)	61.2	52.4	13.6	20.9	18.9	18.9	1.0	22.8			
		子どもがいない 既婚 (n=92)	6.5	5.4	12.0	6.5	5.4	1.1	-	76.1			
子どもがいる(計) (n=343)		30.3	20.1	16.9	8.7	5.5	3.2	1.2	50.7				
女	府内在住	子どもがいない 未婚 (n=114)	67.5	61.4	24.6	29.8	30.7	25.4	0.9	16.7			
		子どもがいない 既婚 (n=36)	8.3	11.1	16.7	30.6	25.0	5.6	2.8	55.6			
		子どもがいる(計) (n=75)	64.0	46.7	18.7	29.3	10.7	10.7	-	26.7			
	府外在住	子どもがいない 未婚 (n=120)	80.0	69.2	30.8	29.2	30.8	24.2	0.8	10.0			
		子どもがいない 既婚 (n=29)	10.3	10.3	17.2	13.8	20.7	6.9	3.4	62.1			
子どもがいる(計) (n=26)		61.5	26.9	11.5	15.4	7.7	-	7.7	26.9				

配偶者の父母からの手助けについては（図表 4-1-3）、既婚男性では、居住地にかかわらず、子どもがいない者の多数が「特にない」（府内 74.4%、府外 57.9%）と回答しており、特に府内在住者は 7 割を上回っている。

性・居住地にかかわらず、子どものいない未婚者では「不在時の子どもの預かり」「子どもの世話や話し相手」をはじめ、いずれの項目についても手助けの期待が大きく、特に府外在住の未婚女性の 8 割は、「不在時の子どもの預かり」（80.0%）をあげている。

図表 4-1-3 配偶者の父母からの家事・育児に対する手助け（性・居住地・子どもの有無別）

		の不在時 か りの 子 ども	話 し 相 手 の 世 話 や	経 済 的 支 援	食 事 の 用 意	買 日 用 品 や 食 品 の	掃 除 ・ 洗 濯	そ の 他	特 に な い
全	体 (n=1,054)	33.6	23.7	14.2	12.0	10.4	6.4	1.2	47.9
男 性	府内 在 住 子 ども が い ない (n=86)	2.3	1.2	8.1	9.3	10.5	3.5	-	74.4
	府内 在 住 子 ども が い る (n=338)	43.5	30.8	16.9	12.7	9.5	6.5	0.6	39.1
	府外 在 住 子 ども が い ない (n=107)	3.7	1.9	28.0	3.7	6.5	1.9	-	57.9
	府外 在 住 子 ども が い る (n=364)	44.5	32.7	11.3	15.9	13.5	8.5	1.9	41.5
女 性	府内 在 住 子 ども が い ない (n=35)	2.9	2.9	8.6	-	5.7	2.9	5.7	80.0
	府内 在 住 子 ども が い る (n=54)	42.6	24.1	9.3	11.1	5.6	3.7	-	50.0
	府外 在 住 子 ども が い ない (n=22)	9.1	9.1	9.1	-	9.1	4.5	-	68.2
	府外 在 住 子 ども が い る (n=18)	27.8	11.1	5.6	5.6	11.1	5.6	5.6	55.6

自分の父母からの手助けを性・居住地・就労状況別にみると（図表 4-1-4・上）、男性では、正規雇用者では居住地による差がみられないが、非正規雇用者では、いずれの項目も「不在時の子どもの預かり」（府内 41.1%、府外 24.4%）、「子どもの世話やし相手」（同 34.8%、26.8%）、「経済的支援」（同 21.4%、12.2%）、「食事の用意」（23.2%、11.0%）など、府外在住者より府内在住者の方が、多くあげている。一方、女性の正規雇用者では「不在時の子どもの預かり」（同 54.9%、63.7%）、「子どもの世話やし相手」（同 44.5%、53.4%）、「経済的支援」（同 19.1%、26.7%）は府内在住者より府外在住者が多くあげている。

配偶者の父母からの手助けについては（図表 4-1-4・下）、男性では、府外在住の非正規雇用者では「経済的支援」が 34.2%と、他の層よりも目立って多くあげられている。一方、「子どもの世話やし相手」は、府内在住の非正規雇用者（39.6%）が、4 割近くあげている。

図表 4-1-4 親からの家事・育児に対する手助け（性・居住地・就労状況別）

〈自分の父母〉

		の不在時の子ども	話し相手の世話やし	経済的支援	食事の用意	買日用品や食品の	掃除・洗濯	その他	特にな
全	体 (n=1,877)	42.8	34.9	19.0	18.0	15.1	11.8	0.9	38.6
男 性	府内在住 正規雇用 (n=661)	37.5	31.5	19.2	15.9	12.7	10.9	0.5	41.6
	府内在住 非正規雇用 (n=112)	41.1	34.8	21.4	23.2	18.8	13.4	0.9	36.6
	府外在住 正規雇用 (n=567)	38.8	29.1	16.0	12.7	9.3	8.1	1.1	44.3
	府外在住 非正規雇用 (n=82)	24.4	26.8	12.2	11.0	14.6	9.8	-	54.9
女 性	府内在住 正規雇用 (n=173)	54.9	44.5	19.1	26.0	19.7	13.3	1.2	28.9
	府内在住 非正規雇用 (n=60)	61.7	56.7	23.3	36.7	30.0	26.7	-	18.3
	府外在住 正規雇用 (n=146)	63.7	53.4	26.7	23.3	23.3	16.4	1.4	20.5
	府外在住 非正規雇用 (n=34)	67.6	50.0	20.6	32.4	35.3	23.5	5.9	23.5

〈配偶者の父母〉

		の不在時の子ども	話し相手の世話やし	経済的支援	食事の用意	買日用品や食品の	掃除・洗濯	その他	特にな
全	体 (n=1,054)	33.6	23.7	14.2	12.0	10.4	6.4	1.2	47.9
既 婚 男 性	府内在住 正規雇用 (n=378)	34.4	22.8	15.1	13.0	9.5	5.8	0.5	47.9
	府内在住 非正規雇用 (n=53)	37.7	39.6	13.2	7.5	15.1	9.4	-	35.8
	府外在住 正規雇用 (n=394)	37.3	26.4	11.4	14.2	11.9	7.6	1.5	47.7
	府外在住 非正規雇用 (n=73)	26.0	21.9	34.2	9.6	11.0	4.1	1.4	32.9
既 婚 女 性	府内在住 正規雇用 (n=70)	25.7	11.4	7.1	10.0	7.1	4.3	2.9	61.4
	府内在住 非正規雇用 (n=20)	30.0	25.0	10.0	5.0	-	-	-	60.0
	府外在住 正規雇用 (n=33)	18.2	12.1	6.1	3.0	12.1	6.1	3.0	60.6
	府外在住 非正規雇用 (n=7)	14.3	-	14.3	-	-	-	-	71.4

(2) 親の居住地

問43 あなたの親は、どちらにお住まいですか。「a) あなたの父親」～「d) 配偶者の母親」のそれぞれについて、よく使う交通手段で片道にかかる時間を、それぞれ1つずつお選びください。

図表 4-2-1

		(%)										
〈自分の父〉		同建物内	同じ敷地内の別棟	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	該当する親がいない	無回答	
全	体 (n=2,261)	19.0	0.8	8.2	6.9	9.5	13.1	6.6	17.9	12.8	5.2	
男	府内在住 (n=930)	15.5	0.6	7.6	7.4	10.8	12.3	5.8	21.3	14.0	4.7	
性	府外在住 (n=820)	16.3	1.1	8.2	6.7	8.7	15.7	7.6	17.6	12.6	5.6	
女	府内在住 (n=275)	24.0	0.7	12.4	7.6	9.1	11.3	6.9	12.0	11.6	4.4	
性	府外在住 (n=193)	42.0	0.5	5.7	4.7	7.3	9.3	5.2	13.0	11.4	1.0	

		(%)										
〈自分の母〉		同建物内	同じ敷地内の別棟	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	該当する親がいない	無回答	
全	体 (n=2,261)	22.6	1.1	8.9	7.5	10.8	14.9	7.2	17.8	4.6	4.5	
男	府内在住 (n=930)	18.6	1.2	8.8	8.4	11.9	14.4	6.6	21.1	4.7	4.3	
性	府外在住 (n=820)	20.0	1.2	8.3	7.1	10.1	17.2	7.9	18.7	4.6	4.9	
女	府内在住 (n=275)	25.1	1.1	14.2	8.4	10.5	13.1	8.0	11.3	5.8	2.5	
性	府外在住 (n=193)	49.7	0.5	5.7	5.2	9.3	9.8	5.2	9.8	3.6	1.0	

		(%)										
〈配偶者の父〉		同建物内	同じ敷地内の別棟	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	該当する親がいない	無回答	
全	体 (n=1,269)	2.0	1.3	12.8	12.1	13.6	16.8	6.5	17.7	12.9	4.2	
男	府内在住 (n=507)	1.4	1.6	15.8	13.6	13.4	14.8	6.7	17.9	10.5	4.3	
性	府外在住 (n=571)	1.9	1.1	11.6	11.2	14.0	20.1	5.4	16.6	14.2	3.9	
女	府内在住 (n=120)	4.2	2.5	10.8	11.7	13.3	10.0	10.0	17.5	15.8	4.2	
性	府外在住 (n=55)	1.8	-	3.6	7.3	16.4	16.4	9.1	27.3	16.4	1.8	

		(%)										
〈配偶者の母〉		同建物内	同じ敷地内の別棟	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	該当する親がいない	無回答	
全	体 (n=1,269)	3.6	1.3	14.0	13.8	15.5	17.9	6.7	18.8	5.3	3.0	
男	府内在住 (n=507)	3.7	1.4	17.0	15.6	15.2	14.4	6.9	18.3	4.1	3.4	
性	府外在住 (n=571)	3.3	1.4	12.4	13.0	16.1	22.1	6.1	17.9	5.1	2.6	
女	府内在住 (n=120)	5.0	1.7	13.3	13.3	15.8	11.7	7.5	19.2	10.0	2.5	
性	府外在住 (n=55)	1.8	-	3.6	7.3	16.4	21.8	9.1	30.9	9.1	-	

自分と配偶者の親の居住地を聞いた（図表 4-2-1）。

自分の父親は、「同じ建物内」が 19.0%で、「同じ敷地内の別棟」（0.8%）を合わせると約 2 割が『同居』している。「15 分未満」（8.2%）と「15～30 分未満」（6.9%）を合わせた『近居』は 15.0%、片道 30 分以上の距離に居住する『別居』（47.1%）は半数近い。

自分の母親は、『同居』が 23.8%、『近居』は 16.5%で、片道 30 分以上の距離に居住する『別居』は 50.7%である。

配偶者の父は、『同居』が 3.3%、『近居』は 24.9%で、半数以上が片道 30 分以上の距離に居住する『別居』（54.7%）である。

配偶者の母は、『同居』が 5.0%、『近居』（27.8%）は約 3 割で、約 6 割が片道 30 分以上の距離に居住する『別居』（58.9%）である。

自分の父母と配偶者の父母にわけて、同別居の状況をまとめたところ（図表 4-2-2）、自分の父母のいずれかが「同じ建物内」もしくは「同じ敷地内の別棟」に『同居』している者は 25.0%、片道 30 分未満の距離に『近居』している者は 16.9%、片道 30 分以上の距離で『別居』している者は 52.1% である。

性・居住地別にみると（図表 4-2-2・上）、自分の父母との『同居』は、男性は居住地による大きな差はみられない。一方、女性は、府外在住者の過半数が『同居』（51.3%）で、府内在住者（29.1%）を 20 ポイント以上上回る。

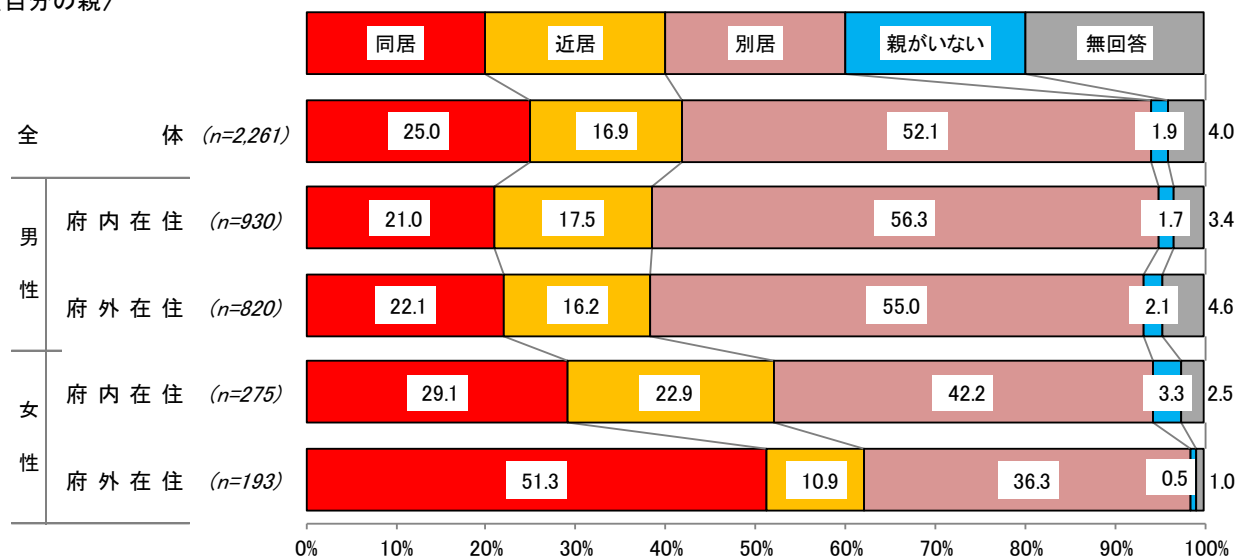
居住地での男女別にみると、父母との『同居』は、男性（府内 21.0%、府外 22.1%）よりも女性（同 29.1%、51.3%）の方が多く、特に未婚者が多数を占める府外居住者では過半数となっている。

一方、配偶者の父母の場合は（図表 4-2-2・下）、『同居』が 5.7%、『近居』が 28.8%、『別居』が 60.6%となっている。

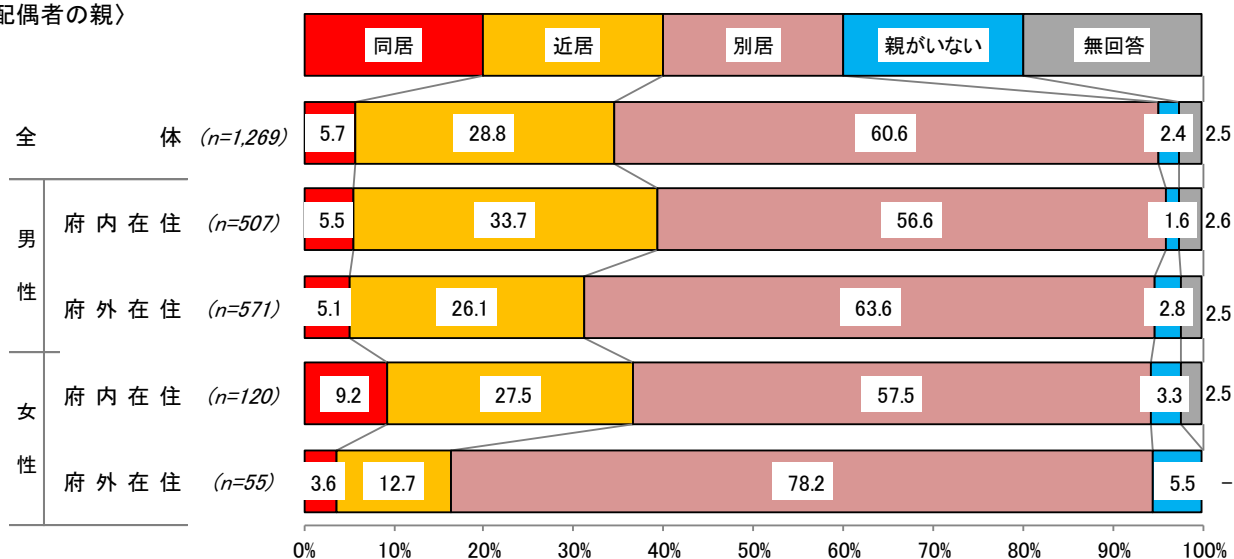
性・居住地別にみると（図表 4-2-2・下）、男女とも『近居』の割合は、府外在住者（男性 26.1%、女性 12.7%）より府内在住者（同 33.7%、27.5%）の方が高く、府外在住者は『別居』（同 63.6%、78.2%）が多数を占める。

図表 4-2-2 親の居住地（性・居住地別）

〈自分の親〉



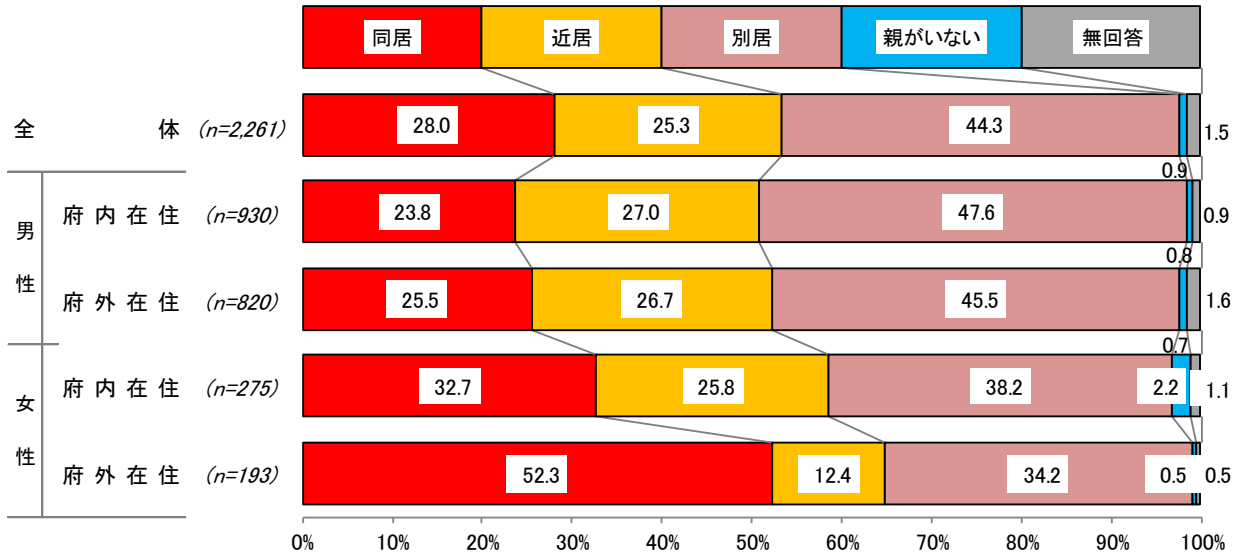
〈配偶者の親〉



さらに自分と配偶者の親をまとめて、いずれかの親との同別居の状況をまとめたところ(図表 4-2-3)、『同居』は 28.0%、『近居』は 25.3%、『別居』は 44.3%である。

性・居住地別にみると(図表 4-2-3)、男性は居住地による大きな差はみられない。府内在住者の女性は『同居』が 32.7%であるのに対し、府外在住者(52.3%)は過半数で、差が大きい。

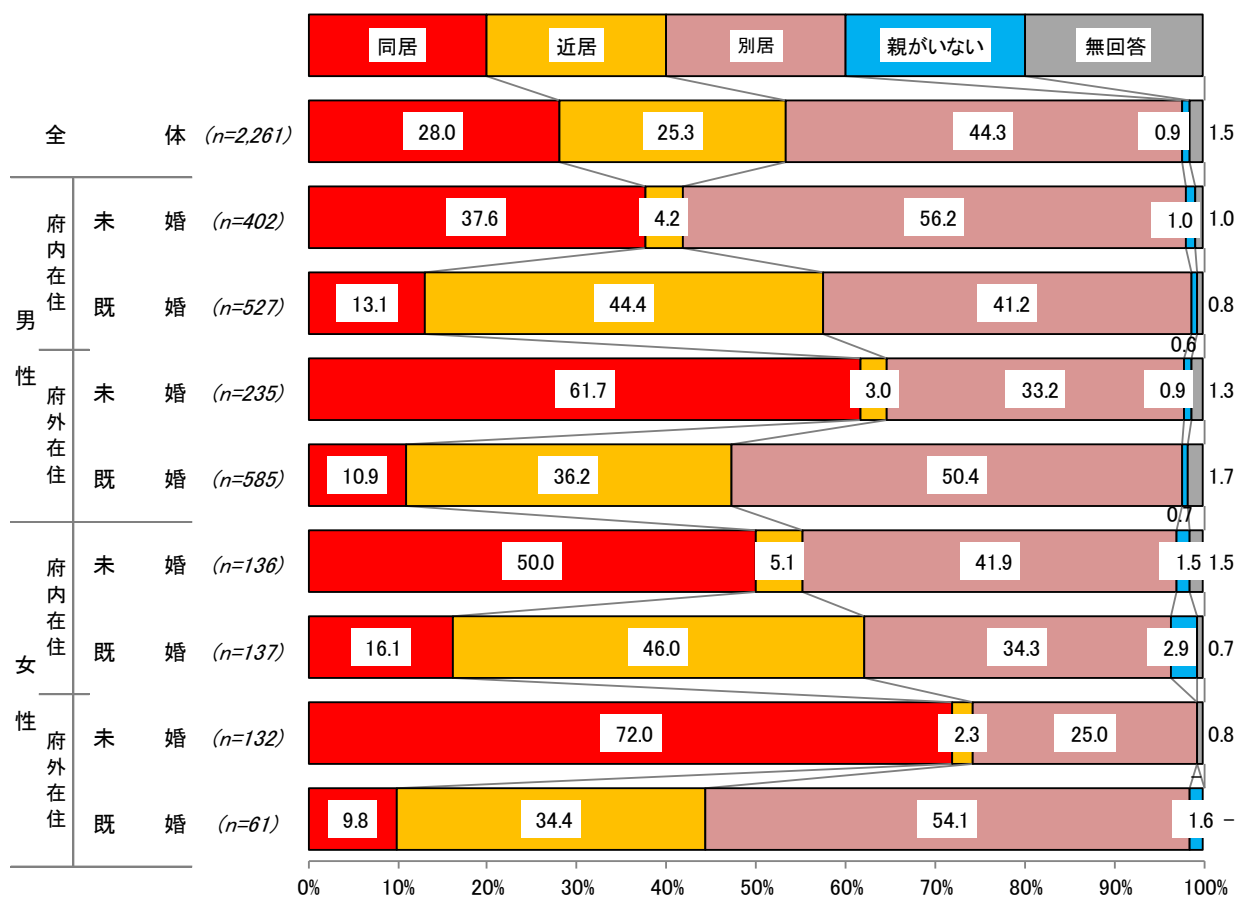
図表 4-2-3 親の居住地 (性・居住地別)



性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 4-2-4）、男性の未婚者で『同居』している者（府内 37.6%、府外 61.7%）は、府外在住者の 6 割を上回り、府内在住者を 24 ポイント上回っている。府内在住の未婚男性では半数以上が『別居』（同 56.2%、33.2%）と回答している。一方、府外在住者では、『別居』（未婚 33.2%、既婚 50.4%）は、未婚者で 3 割台であるのに対して、既婚男性の半数程度を占め、府内在住者と差がみられる。

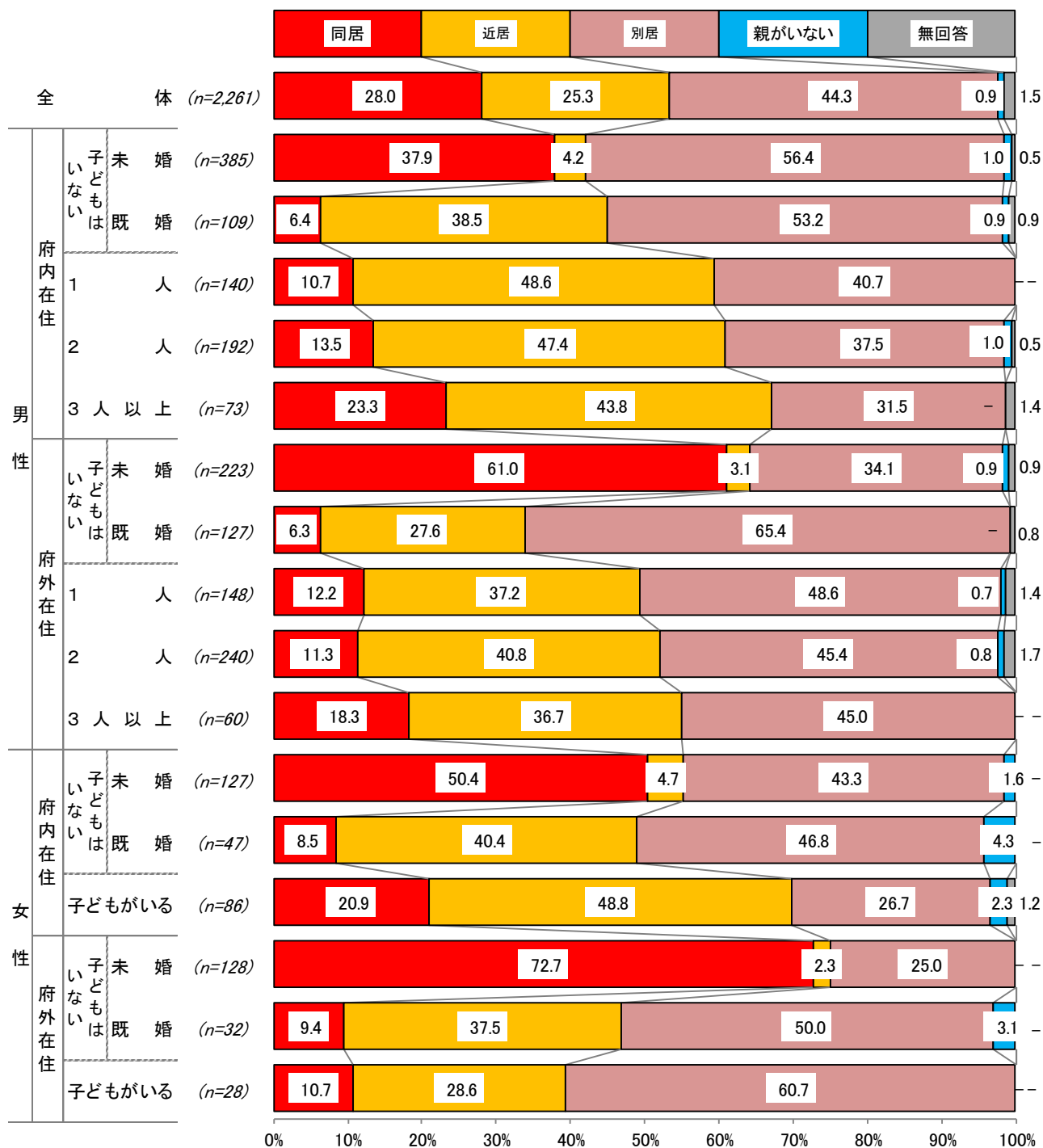
女性の未婚者は、居住地にかかわらず半数以上が『同居』（府内 50.0%、府外 72.0%）と回答しており、特に府外の未婚女性は 7 割を上回っている。女性の既婚者では、府内在住者は『近居』（46.0%）が最も多く、次いで『別居』（34.3%）が 3 割強となっているが、府外在住の既婚女性では『別居』（54.1%）が過半数を占めている。

図表 4-2-4 親の居住地（性・居住地・婚姻状況別）



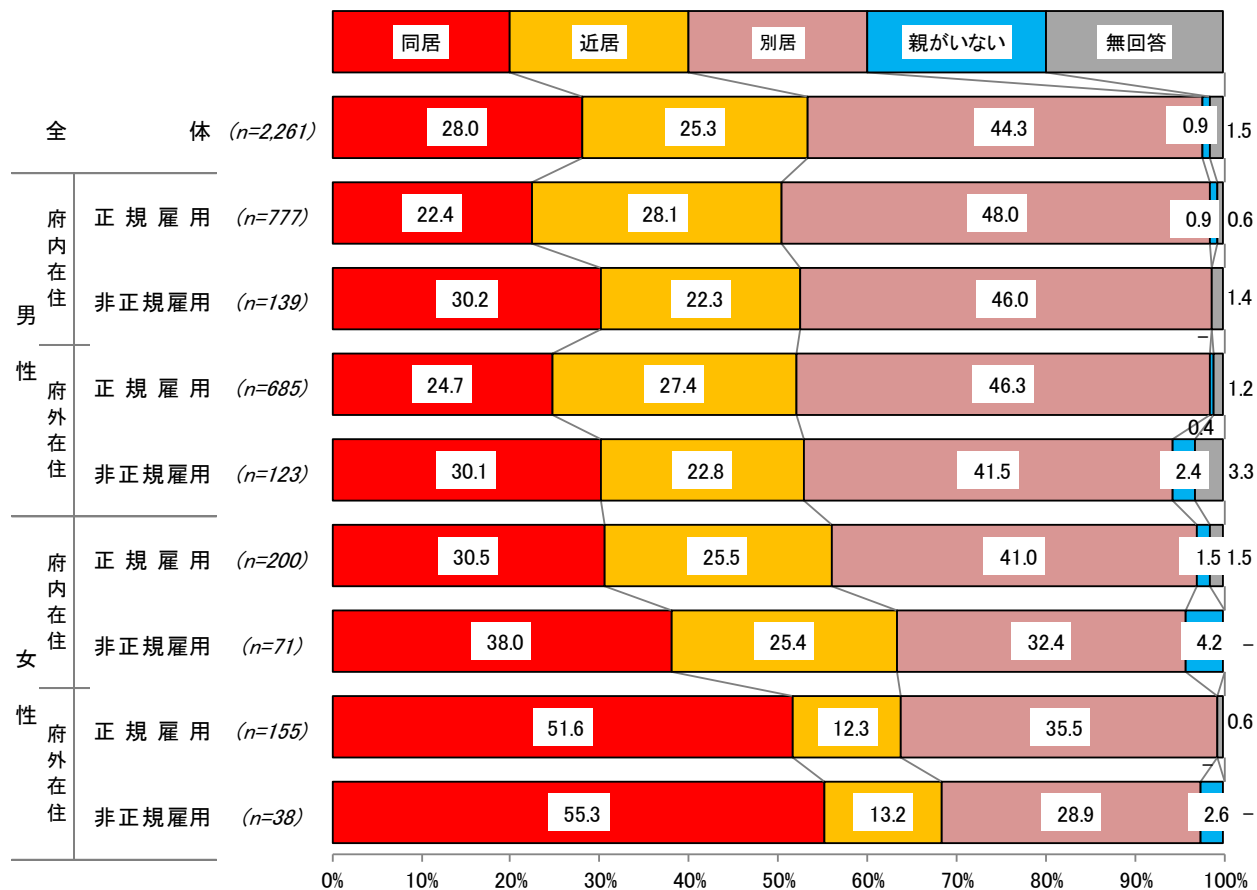
性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 4-2-5）、子どもがいない未婚者は、府内在住の男性では『別居』（56.4%）が過半数だが、府外在住の未婚男性（61.0%）と未婚女性（府内 50.4%、府外 72.7%）は、『同居』が最も多い。子どもがいない既婚者では、居住地にかかわらず『別居』が最も多い。子どもがいる男性では、子どもの人数が多い者ほど『同居』が多い傾向があり、3人以上子どもがいる者（同 23.3%、18.3%）では 2 割前後である。

図表 4-2-5 親の居住地（性・居住地・子どもの人数別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 4-2-6）、男性では、『別居』はいずれも 4 割台で、『同居』は、正規雇用者（府内 22.4%、府外 24.7%）よりも非正規雇用者（同 30.2%、30.1%）に多い。府内在住の女性においても、『同居』は正規雇用者（30.5%）よりも非正規雇用者（38.0%）の方が多くなっている。

図表 4-2-6 親の居住地（性・居住地・就労状況別）



(3) 親との同居理由

【親のいずれかと同居または近居している方（問43で「1」～「4」と回答した方）にお聞きします。】

問44 あなたが親と同居または近居しているのはなぜですか。あてはまるものをいくつでもお選びください。なお、「近居」には、30分未満の距離で同じ敷地内の別棟を含みます。

図表 4-3-1

		遠くに住む必要性を感じないから	住宅費を節約するため	食事や光熱費を節約するため	子育ての支援を受けるため	親を介護するため	親が好きだから	家事を分担するため	その他	無回答
全	体 (n=1,205)	53.5	21.9	20.0	16.6	10.0	9.8	4.1	2.6	12.7
男 性	府内在住 (n=472)	55.3	19.9	16.1	14.2	9.5	5.9	3.0	3.6	14.2
	府外在住 (n=428)	50.9	19.6	18.9	21.0	10.7	6.3	4.2	0.9	12.4
女 性	府内在住 (n=161)	52.2	21.1	21.1	19.9	10.6	21.7	5.0	3.7	10.6
	府外在住 (n=125)	59.2	39.2	37.6	8.0	7.2	21.6	7.2	3.2	8.0

親のいずれかと同居または近居している者（1,205人）が親と同居または近居している理由としては（図表4-3-1）、「遠くに住む必要性を感じないから」が53.5%で目立って多く、以下「住宅費を節約するため」（21.9%）、「食事や光熱費を節約するため」（20.0%）、「子育ての支援を受けるため」（16.6%）、「親を介護するため」（10.0%）、「親が好きだから」（9.8%）などの順となっている。

性・居住地別にみると（図表4-3-1）、男性では「子育ての支援を受けるため」（府内14.2%、府外21.0%）が、府内在住者より府外在住者に多くあげられている。一方、女性では、「住宅費を節約するため」（同21.1%、39.2%）と「食事や光熱費を節約するため」（同21.1%、37.6%）が、府内在住者よりも府外在住者に多くあげられ、「子育ての支援を受けるため」（同19.9%、8.0%）は、男性とは逆に府外在住者よりも府内在住者に多くあげられている。

男女別にみると、「親が好きだから」は、女性（府内21.7%、府外21.6%）で約2割で、男女差が大きい。

性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 4-3-2）、性・居住地にかかわらず、「遠くに住む必要性を感じないから」「住宅費を節約するため」「食事や光熱費を節約するため」は、既婚者よりも未婚者に多くあげられ、「子育ての支援を受けるため」と「親を介護するため」は、未婚者よりも既婚者に多くあげられている。

図表 4-3-2 親との同居理由（性・居住地・婚姻状況別）

			遠くに住む必要性を感じないから	住宅費を節約するため	食事や光熱費を節約するため	子育ての支援を受けるため	親を介護するため	親が好きだから	家事を分担するため	その他	無回答
全体		(n=1,205)	53.5	21.9	20.0	16.6	10.0	9.8	4.1	2.6	12.7
男性	府内在住	未婚 (n=168)	61.9	39.3	38.1	0.6	6.5	7.1	5.4	3.6	7.7
	府内在住	既婚 (n=303)	51.8	9.2	4.0	21.8	11.2	5.3	1.7	3.6	17.5
	府外在住	未婚 (n=152)	57.2	43.4	42.1	2.0	5.3	8.6	7.9	0.7	5.3
	府外在住	既婚 (n=276)	47.5	6.5	6.2	31.5	13.8	5.1	2.2	1.1	16.3
女性	府内在住	未婚 (n=75)	62.7	34.7	36.0	-	6.7	26.7	6.7	1.3	9.3
	府内在住	既婚 (n=85)	43.5	9.4	8.2	37.6	14.1	17.6	3.5	5.9	10.6
	府外在住	未婚 (n=98)	62.2	48.0	45.9	-	6.1	24.5	9.2	3.1	7.1
	府外在住	既婚 (n=27)	48.1	7.4	7.4	37.0	11.1	11.1	-	3.7	11.1

性・居住地・子どもの有無別にみると（図表 4-3-3）、「遠くに住む必要性を感じないから」「住宅費を節約するため」「食事や光熱費を節約するため」は子どもがいない未婚者に多くあげられ、子どもがいる層では、「子育ての支援を受けるため」が多くあげられている。

図表 4-3-3 親との同居理由（性・居住地・子どもの有無別）

			(%)									
			遠くに 住む 必要 性 を 感 じ な い か ら	住 宅 費 を 節 約 す る た め	食 事 や 光 熱 費 を 節 約 す る た め	子 育 て の 支 援 を 受 け る た め	親 を 介 護 す る た め	親 が 好 き だ か ら	家 事 を 分 担 す る た め	そ の 他	無 回 答	
全	体	(n=1,205)	53.5	21.9	20.0	16.6	10.0	9.8	4.1	2.6	12.7	
男 性	府 内 在 住	子 ど も が い る 未 婚	(n=162)	61.7	39.5	37.7	0.6	6.8	7.4	5.6	3.7	8.0
		子 ど も が い る 既 婚	(n=49)	61.2	8.2	4.1	12.2	6.1	2.0	2.0	4.1	18.4
		子 ど も が い る	(n=249)	50.6	9.6	4.0	23.7	12.4	5.2	1.6	3.2	17.3
	府 外 在 住	子 ど も が い る 未 婚	(n=143)	58.7	45.5	42.7	0.7	4.9	8.4	8.4	0.7	4.2
		子 ど も が い る 既 婚	(n=43)	48.8	4.7	9.3	11.6	11.6	4.7	-	-	30.2
		子 ど も が い る	(n=231)	47.2	6.9	5.6	35.1	14.3	5.2	2.6	1.3	13.9
女 性	府 内 在 住	子 ど も が い る 未 婚	(n=70)	64.3	37.1	37.1	-	7.1	28.6	7.1	1.4	7.1
		子 ど も が い る 既 婚	(n=23)	73.9	13.0	13.0	8.7	17.4	34.8	-	4.3	8.7
		子 ど も が い る	(n=60)	31.7	8.3	6.7	50.0	13.3	11.7	5.0	6.7	10.0
	府 外 在 住	子 ど も が い る 未 婚	(n=96)	62.5	46.9	46.9	-	6.3	24.0	9.4	3.1	7.3
		子 ど も が い る 既 婚	(n=15)	73.3	-	-	20.0	6.7	20.0	-	-	6.7
		子 ど も が い る	(n=11)	9.1	18.2	18.2	54.5	18.2	-	-	9.1	18.2

性・居住地・就労状況別にみると（図表 4-3-4）、府内在住の男性では、「遠くに住む必要性を感じないから」（正規 53.8%、非正規 63.0%）、「住宅費を節約するため」（同 18.9%、27.4%）、「食事や光熱費を節約するため」（同 14.5%、26.0%）が、いずれも正規雇用者より非正規雇用者に多くあげられている。府外在住者には、就労状況による差はみられない。

一方、女性の正規雇用者をみると、「遠くに住む必要性を感じないから」（府内 51.8%、府外 57.6%）、「住宅費を節約するため」（同 16.1%、37.4%）、「食事や光熱費を節約するため」（同 16.1%、34.3%）は府内在住者より府外在住者に、「子育ての支援を受けるため」（同 21.4%、9.1%）は府外在住者より府内在住者にそれぞれ多くあげられている。

図表 4-3-4 親との同居理由（性・居住地・就労状況別）

		(%)									
		遠くに 住む 必要 性を 感 じ な い か ら	住 宅 費 を 節 約 す る た め	食 事 や 光 熱 費 を 節 約 す る た め	子 育 て の 支 援 を 受 け る た め	親 を 介 護 す る た め	親 が 好 き だ か ら	家 事 を 分 担 す る た め	そ の 他	無 回 答	
全	体 (n=1,205)	53.5	21.9	20.0	16.6	10.0	9.8	4.1	2.6	12.7	
男 性	府内在住 正規雇用 (n=392)	53.8	18.9	14.5	14.8	10.5	6.1	3.1	3.3	15.6	
	府内在住 非正規雇用 (n=73)	63.0	27.4	26.0	11.0	4.1	4.1	2.7	5.5	6.8	
	府外在住 正規雇用 (n=357)	51.0	19.3	19.0	21.8	10.9	6.7	4.2	0.8	12.3	
	府外在住 非正規雇用 (n=65)	50.8	20.0	18.5	18.5	10.8	4.6	4.6	-	13.8	
女 性	府内在住 正規雇用 (n=112)	51.8	16.1	16.1	21.4	10.7	20.5	4.5	4.5	11.6	
	府内在住 非正規雇用 (n=45)	53.3	31.1	33.3	15.6	11.1	24.4	6.7	2.2	8.9	
	府外在住 正規雇用 (n=99)	57.6	37.4	34.3	9.1	9.1	22.2	5.1	3.0	9.1	
	府外在住 非正規雇用 (n=26)	65.4	46.2	50.0	3.8	-	19.2	15.4	3.8	3.8	

(4) 親の理想の居住地

【全員の方にお聞きします。】

問45 現在の同別居やあなたご自身の未既婚者にかかわらず、親がどれくらいの距離に住んでいるのがよいと思いますか。「a）あなたの父親」～「d）配偶者の母親」のそれぞれについて、あてはまるものをそれぞれ1つだけお選びください。

図表 4-4-1

		(<自分の父>)									
		同建物内	同じ敷地内の別棟	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	該当する親がない	無回答
全	体 (n=2,261)	5.1	3.1	11.5	19.3	20.3	13.8	3.3	4.6	12.8	6.1
男	府内在住 (n=930)	5.9	2.6	9.8	18.3	20.3	14.1	4.0	4.9	14.0	6.1
性	府外在住 (n=820)	3.5	4.3	10.4	17.3	22.2	14.5	2.9	6.3	12.6	6.0
女	府内在住 (n=275)	6.2	2.9	20.0	26.2	15.6	9.8	2.5	1.1	11.6	4.0
性	府外在住 (n=193)	6.7	1.6	13.0	23.8	21.2	15.0	2.6	2.1	11.4	2.6

		(<自分の母>)									
		同建物内	同じ敷地内の別棟	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	該当する親がない	無回答
全	体 (n=2,261)	6.3	4.2	13.0	21.2	21.8	14.9	3.4	4.4	4.6	6.1
男	府内在住 (n=930)	6.7	4.0	11.5	21.2	21.5	15.1	4.5	4.6	4.7	6.2
性	府外在住 (n=820)	4.5	4.5	11.1	18.7	24.9	16.0	2.9	6.6	4.6	6.2
女	府内在住 (n=275)	8.7	5.5	21.1	25.8	17.1	9.8	2.2	0.7	5.8	3.3
性	府外在住 (n=193)	8.8	2.1	16.6	26.9	20.2	17.1	2.1	0.5	3.6	2.1

		(<配偶者の父>)									
		同建物内	同じ敷地内の別棟	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	該当する親がない	無回答
全	体 (n=1,269)	2.5	2.1	15.6	23.2	22.1	11.8	2.3	3.8	12.9	3.6
男	府内在住 (n=507)	1.0	2.4	17.6	25.4	21.5	12.0	3.2	3.6	10.5	3.0
性	府外在住 (n=571)	4.7	2.3	14.0	22.2	22.4	11.2	1.1	3.9	14.2	4.0
女	府内在住 (n=120)	-	0.8	15.8	16.7	26.7	12.5	4.2	5.0	15.8	2.5
性	府外在住 (n=55)	-	1.8	12.7	25.5	20.0	14.5	3.6	3.6	16.4	1.8

		(<配偶者の母>)									
		同建物内	同じ敷地内の別棟	15分未満	15～30分未満	30～60分未満	1～2時間未満	2～3時間未満	3時間以上	該当する親がない	無回答
全	体 (n=1,269)	3.2	2.6	17.9	25.5	24.0	12.1	2.2	3.8	5.3	3.3
男	府内在住 (n=507)	1.6	2.8	19.9	28.4	21.9	12.6	2.8	3.0	4.1	3.0
性	府外在住 (n=571)	5.6	2.8	15.9	24.9	25.6	11.0	1.2	4.0	5.1	3.9
女	府内在住 (n=120)	-	0.8	17.5	17.5	28.3	14.2	4.2	5.8	10.0	1.7
性	府外在住 (n=55)	-	3.6	16.4	23.6	21.8	14.5	3.6	5.5	9.1	1.8

現在の状況にかかわらず、親との理想の居住地の距離感を聞いた（図表 4-4-1）。

自分の父親は、「同じ建物内」が 5.1%で、「同じ敷地内の別棟」（3.1%）を合わせると、『同居』がよいという者は 8.3%である。「15 分未満」（11.5%）と「15～30 分未満」（19.3%）を合わせた『近居』（30.8%）は約 3 割、片道 30 分以上の距離に居住する『別居』（42.0%）がよいという者は 4 割を超える。

自分の母親は、『同居』が 10.5%、『近居』は 34.2%で、片道 30 分以上の距離に居住する『別居』を希望する者は 44.6%である。

配偶者の父は、『同居』が 4.6%、『近居』は 38.8%で、4 割が片道 30 分以上の距離に居住する『別居』（40.0%）がよいと回答している。

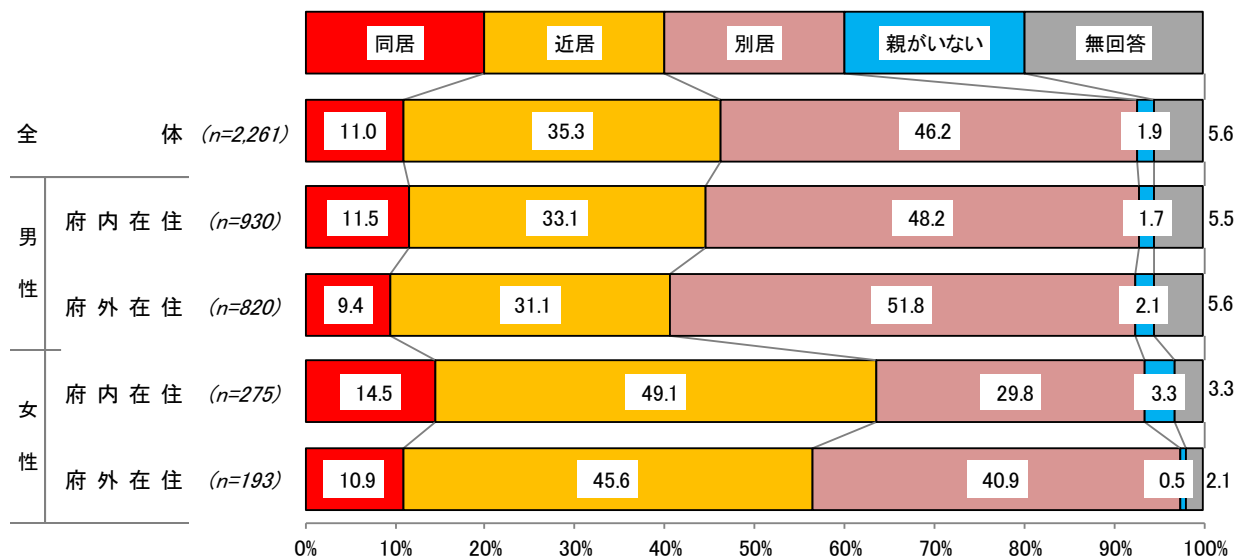
配偶者の母は、『同居』が 5.8%、『近居』は 43.4%で、約 4 割が片道 30 分以上の距離に居住する『別居』（42.2%）を希望している。

自分の父母と配偶者の父母にわけて、理想の同別居の状況をまとめたところ（図表 4-4-2）、自分の父母のいずれかが「同じ建物内」もしくは「同じ敷地内の別棟」に『同居』を希望する者は 11.0%、片道 30 分未満の距離での『近居』を希望する者は 35.3%、片道 30 分以上の距離での『別居』希望者は 46.2%である。

性・居住地別にみると（図表 4-4-2）、男性は居住地による大きな差はみられない。女性は『別居』を理想とする者が府内在住者（29.8%）よりも府外在住者（40.9%）に多い。

また、男女別では男性よりも女性に自分の父母との『近居』がよいという者が多い。

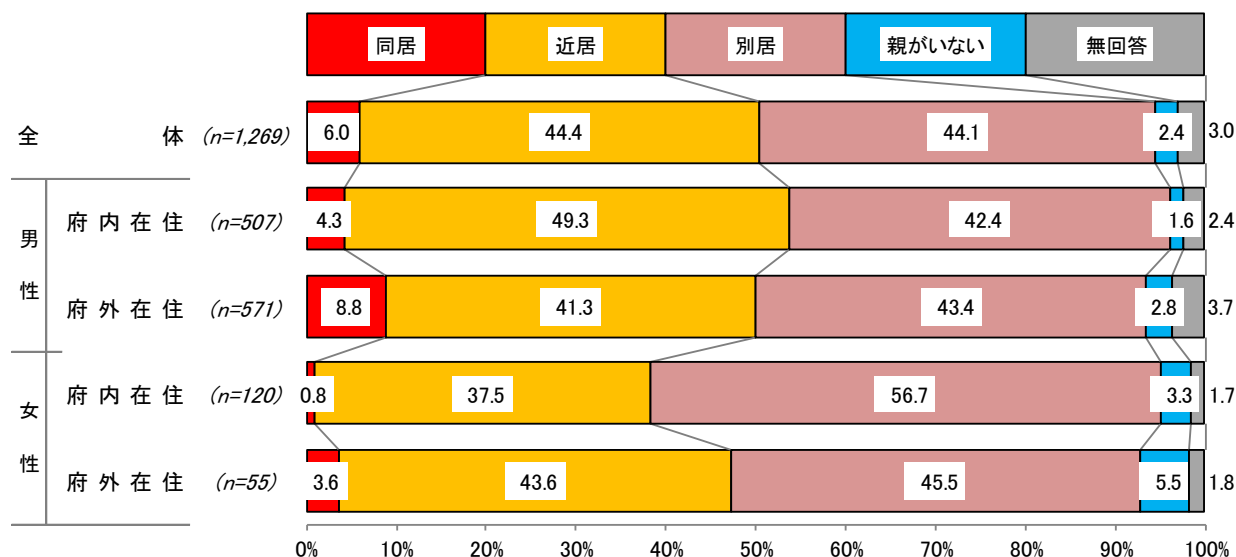
図表 4-4-2 自分の父母の理想の居住地（性・居住地別）



配偶者の父母の場合は（図表 4-4-3）、『同居』が 6.0%、『近居』が 44.4%、『別居』が 44.1%となっている。

性・居住地別にみると（図表 4-4-3）、府内在住の女性で『別居』（56.7%）の希望が、他の層よりも多くなっている。

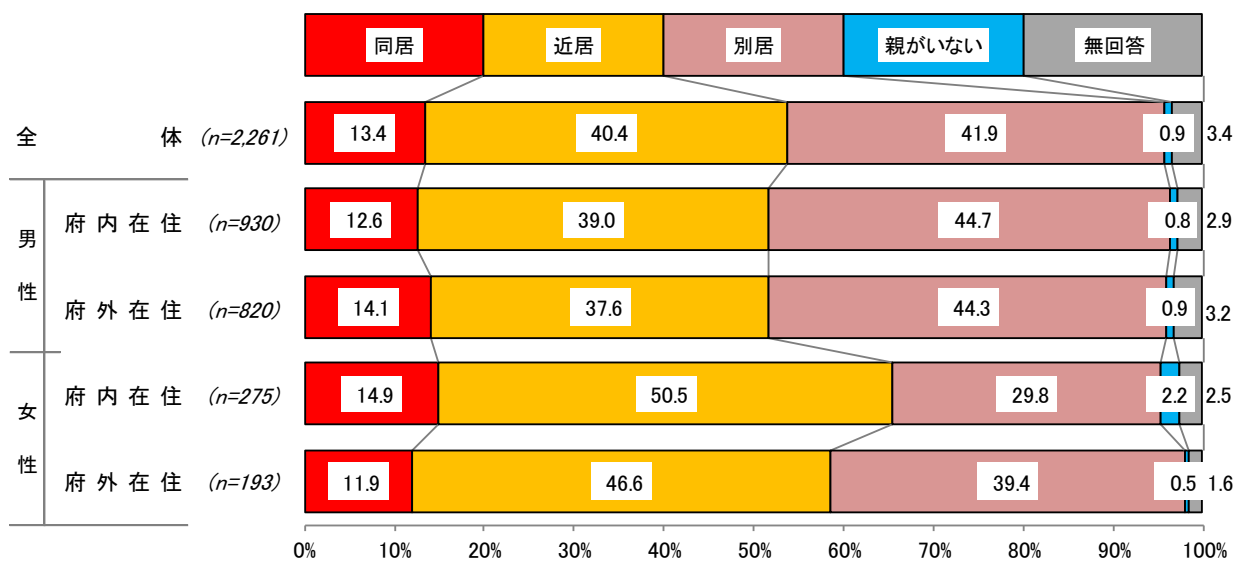
図表 4-4-3 配偶者の父母の理想の居住地（性・居住地別）



さらに自分と配偶者の親をまとめて、いずれかの親との同別居の理想の状況をまとめたところ（図表 4-4-4）、『同居』は 13.4%、『近居』は 40.4%、『別居』は 41.9%である。

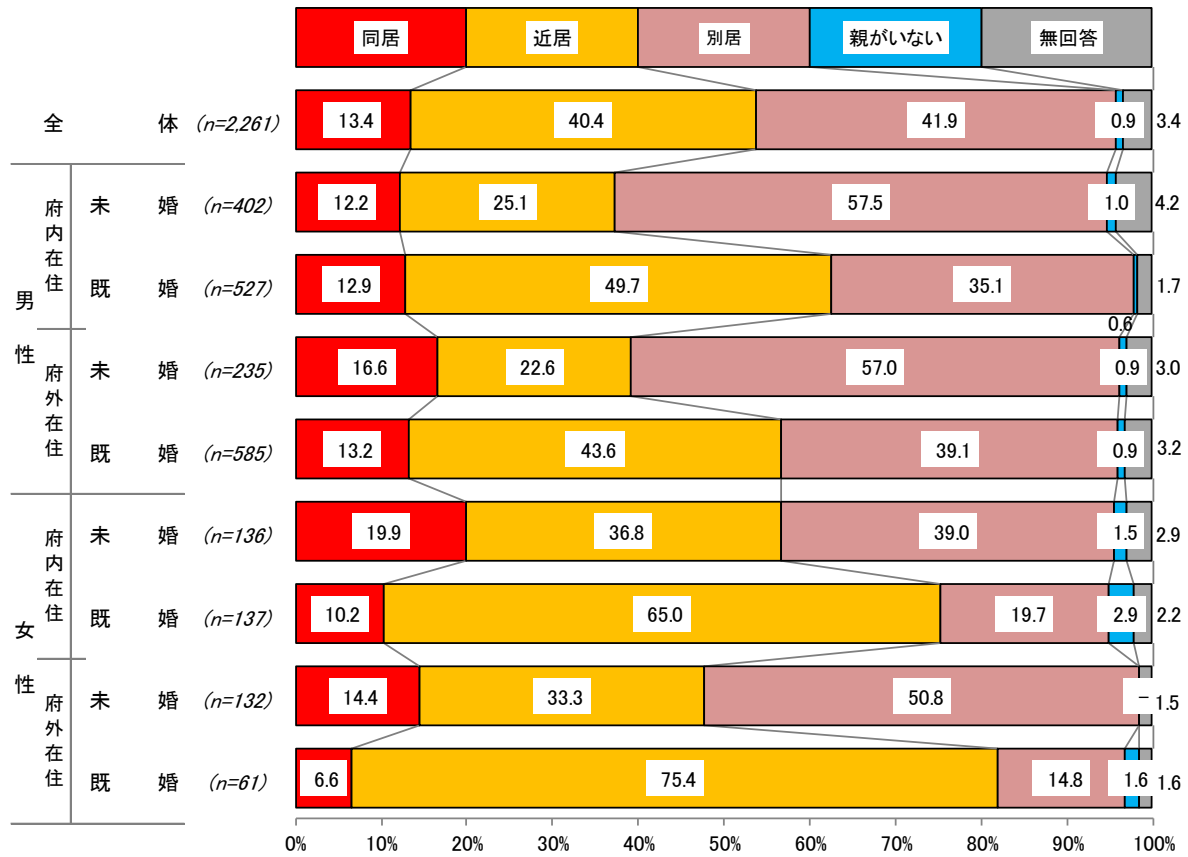
性・居住地別にみると（図表 4-4-4）、男性は居住地による大きな差はみられない。女性は『別居』（府内 29.8%、府外 39.4%）の希望が、府内在住者より府外在住者に多い。

図表 4-4-4 親の理想の居住地（性・居住地別）



性・居住地・婚姻状況別にみると（図表 4-4-5）、『同居』を理想とする者は、府内在住の未婚女性（19.9%）と府外在住の未婚男性（16.6%）で 2 割近い。また、『近居』は、居住地にかかわらず未婚者を既婚者が大幅に上回っている。

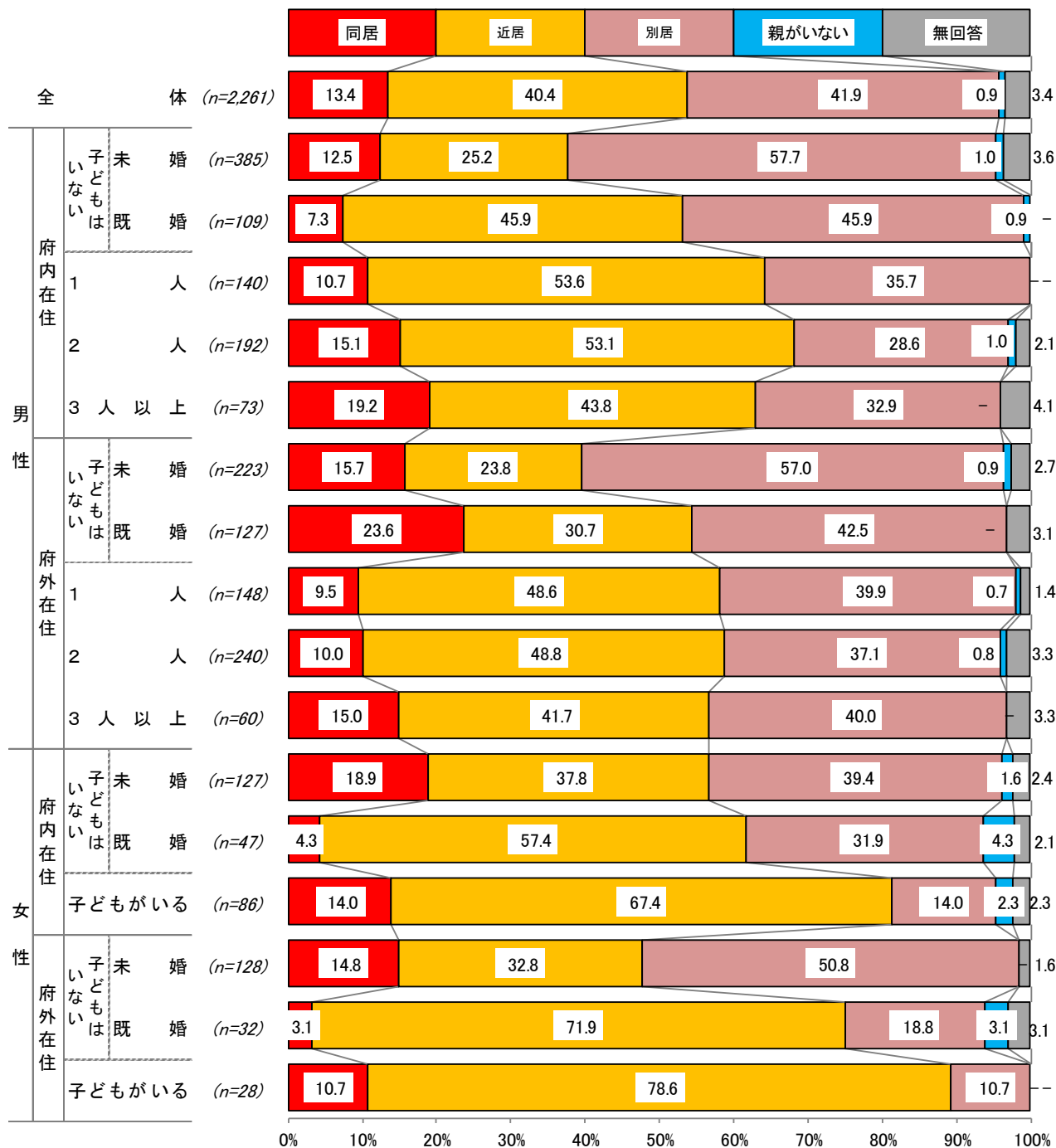
図表 4-4-5 親の理想の居住地（性・居住地・婚姻状況別）



性・居住地・子どもの人数別にみると（図表 4-4-6）、府外在住の男性で子どものいない既婚者に『同居』を理想とする者が 23.6% と他の層より多くなっている。また、子どものいる男性では、子どもの人数が多い者ほど『同居』を理想とする者が多い傾向にある。

一方、女性では、子どもがいない未婚者で『近居』（府内 37.8%、府外 32.8%）を理想とする者は、府内在住者が府外在住者を上回り、府外在住の未婚女性の半数は『別居』（50.8%）を希望している。

図表 4-4-6 親の理想の居住地（性・居住地・子どもの人数別）



性・居住地・就労状況別にみると（図表 4-4-7）、男性は、府外在住の非正規雇用者で『同居』を理想とする者が 28.5%と、他の層より多い。一方、女性は、府外在住の正規雇用者で『別居』が 42.6%と府内在住者（正規 30.0%、非正規 29.6%）より多い。

図表 4-4-6 親の理想の居住地（性・居住地・就労状況別）

